

IWATE UNIVERSITY

Reorganization 2025

令和7年4月

理工学部

Faculty of Science and Engineering

農学部

Faculty of Agriculture

獣医学部

Faculty of Veterinary Medicine

学部改組・新設のお知らせ

※人文社会科学部、教育学部については今回の改組による変更はありません。

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる可能性があります。



国立大学法人

岩手大学

IWATE UNIVERSITY

岩手大学は、卒業生である宮沢賢治の想い「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」(Well-being)を受け継ぎ、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現のため、予測不能なVUCA[®]時代を切り拓き、力強く生きる力を持ったレジリエントな人材の育成を目指しています。

いま、岩手大学としてなすべきことはこれまでの教育・研究・社会貢献活動の経験を踏まえ、将来の岩手、さらには我が国の発展に寄与することを見据えた「震災復興から地域創生へのフェーズの移行」「今後迫りくる新たな社会課題や危機」そして「人工知能やビッグデータに代表される第4次産業革命の進展による社会構造・産業構造の変化を見据えた新たな社会的・地域的ニーズ」への積極的対応です。これらを具体化する取り組みの一つとして、令和7年4月、岩手大学は理工学部、農学部、獣医学部の再編及び新設を計画しています。

※Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を並べた造語。あらゆる環境が変化し、将来の予測が困難になっている状況を意味する。

理工学部

Faculty of Science and Engineering

専門性とデータサイエンス応用力を併せ持つ人材育成

- 3学科8コースから1学科8コースへ再編
2年次コース選択の柔軟化
- デジタルメディア、UX/UIデザイン分野で活躍する人材育成を目指す「クリエイティブ情報コース」を新設
- データサイエンス応用力を養成するデータサイエンス応用副プログラムの導入
- 幅広い学びが可能となる初年次教育プログラムを導入



「食料」「生命」「環境」をキーワードに、実践的かつ総合的な学びを提供

- 「食料」「生命」「環境」をキーワードとした学科・コースの再編
- 農学全体を俯瞰できる「農学の総合知」を養う実践的教育の実施
- ライフサイエンス分野の強化・充実



国際通用性のある獣医学教育の実現

- 産業動物分野、公衆衛生・家畜衛生分野の充実
- 地域と連携した伴侶動物臨床分野の充実
- 国際標準を目指した学部カリキュラムの改善
- 学部での研究者養成プログラムの導入



獣医学部

Faculty of Veterinary Medicine

現行[~令和7年3月]

人文社会科学部 200名

教育学部 160名

化学・生命理工学科 90名

化学コース

生命コース

物理・材料理工学科 80名

数理・物理コース

マテリアルコース

システム創成工学科 270名

電気電子通信コース

知能・メディア情報コース

機械科学コース

社会基盤・環境コース

理工学部(440名)

植物生命科学科 40名

応用生物化学科 40名

森林科学科 30名

食料生産環境学科 60名

農村地域デザインコース

食産業システム学コース

水産システム学コース

動物科学科 30名

共同獣医学科 30名

農学部(230名)

新体制[令和7年4月~]

人文社会科学部 200名

教育学部 160名

理工学科 414名

化学コース

数理・物理コース

材料科学コース

知能情報コース

クリエイティブ情報コース

電気電子・情報通信コース

機械知能航空コース

社会基盤・環境工学コース

理工学部(414名)

食料農学科 50名

農学コース

食品健康科学コース

生命科学科 51名

分子生物機能学コース

分子生命医科学コース

地域環境科学科 70名

革新農業コース

森林科学コース

動物科学・水産科学科 55名

動物科学コース

水産システム学コース

農学部(226名)

獣医学部

共同獣医学科 30名

※人文社会科学部、教育学部については今回の改組による変更はありません



Faculty of Science and Engineering

理工学部

確かな専門性に加え、データサイエンス
応用力を育む新たな教育プログラムを提供

- POINT
① 3学科8コースから1学科8コースへ再編
2年次コース選択の柔軟化※1
- POINT
② デジタルメディア、UX/UIデザイン分野で
活躍する人材育成を目指す
「クリエイティブ情報コース」を新設
- POINT
③ データサイエンス応用力を養成する
データサイエンス応用副プログラム※2の導入
- POINT
④ 幅広い学びが可能となる
初年次教育プログラムを導入※3

※1:2年連続時のコース配属において、条件を満たせば入学時と異なるコース配属も可能であり、柔軟にコース選択が可能です。(各コース配属人数に上限あり) ※2:各コース専門教育と並行し、数値データサイエンスに関する教育が受けられる副プログラム制度。専門的な技術課題の解決にデータサイエンスの知識を生かすことができる人材を養成します。 ※3:入学時は各コース配属候補者(仮配属)として受入れ、初年次に幅広い専門基礎教育を実施し、2年次以降に各コースに配属されます。

■改組の理念、背景

急速に進化する人工知能(AI)が世の中を大きく変えようとしているいま、データサイエンスを応用する力は、すべての科学技術者に必要な能力になりつつあります。一方で、地球環境やエネルギー問題を解決し、持続可能な社会をつくることは科学技術に求められた喫緊の課題です。岩手大学理工学部はSDGsが謳われる前から、「ソフトパス理工学」を標榜に、持続可能な社会の構築を目指してきました。今回の改組では、ソフトパス理工学教育をさらに強化するとともに、専門性+データサイエンス応用力を身に付けてもらうことで、専門性をより広範に展開できる人材を育成します。さらに、情報分野の教育研究を拡充するために、クリエイティブ情報コースを新設します。

■養成する人材像

- 1 理学と工学の発想をともに理解し、社会の未解決課題に対し柔軟に挑戦できる人材
(学士[理工学])
- 2 科学技術を活用して社会の課題を解決し、持続可能な社会システムの構築に貢献できる人材
(学士[工学])
- 3 コンピューター・サイエンスの専門知識をもち、様々な応用分野で情報技術を駆使できる人材
(学士[情報学])



Faculty of Agriculture

農学部

「食料」「生命」「環境」をキーワードに、
実践的かつ総合的な学びを提供

- POINT
① 「食料」「生命」「環境」をキーワードとした
1学科8コースの再編
- POINT
② 農学全体を俯瞰できる「農学の総合知」を養う
実践的教育の実施
- POINT
③ ライフサイエンス
分野の強化・充実



■改組の理念、背景

岩手大学農学部は、前身の盛岡高等農林学校創立以来120年間、農学分野における地域および国内外の課題解決とその人材育成のための実践的かつ先進的な教育・研究を行ってきました。近年の農学分野においては、世界的規模で進む気候・環境の変化や農林水産業を取り巻く様々な情勢の変化を反映した教育・研究の重要性が増し、農学全体を幅広く理解するための教育と研究が強く求められています。今回の改組では、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」の3つの領域を基軸として、各領域に関する専門教育と研究を行うと共に、これらの3つの領域を統合した「農学の総合知」教育を行います。岩手大学農学部は、創立から1世紀を超える「実学教育」の歴史と実績を最大限に生かし、地域と世界に貢献する特色ある「農学部」に改組することで、自身の専門分野に関して農学全体からの視点を持ち、修得した知識や技術を他の分野にも広く、そして力強く展開できる次世代の人材を育成します。

■養成する人材像

- 1 農学分野を幅広く、かつ全体的な視点で捉えることのできる人材
- 2 種々の社会課題を農学の視点から包括的に捉えてその解決に当たることができる人材



Faculty of Veterinary Medicine

獣医学部

地域の要請に応えるために
国際通用性のある獣医学教育を実現

- POINT
① 産業動物分野、
公衆衛生・家畜衛生分野の充実
- POINT
② 地域と連携した伴侶動物臨床分野の充実
- POINT
③ 国際標準を目指した学部カリキュラムの改善
- POINT
④ 学部での研修者養成プログラムの導入

■改組の理念、背景

地域社会における岩手大学の貢献と役割、獣医学および獣医師養成をめぐる社会の情勢の両側面から、岩手大学農学部共同獣医学部を改組し獣医学部を設置することとしました。岩手大学獣医学部では、地域の要請に応えることが可能な国際通用性のある獣医学教育を実現し、産業動物獣医学・家畜衛生などの獣医に関する諸課題に対応可能な人材を育成することを目指します。

■養成する人材像

- 1 地球環境の保全を含めOne Healthに関する高度な専門知識を修得し、獣医学領域に関わる課題について論理的に判断できる人材
- 2 地球規模での感染症対策や畜産物の安全確保等に対して貢献できる知識を修得し、意欲を有する人材
- 3 高度な専門知識に基づいて修得した獣医学領域に必要な技能を実践でき、論理性と倫理性を兼ね備えた行動規範を身につけた人材



学部	学科	学科の特徴	コース	コースの特徴	想定される進路
理工学部	理工学科	我が国が目指す未来社会で必要とされる情報リテラシーと確かな専門性を併せ持ち、地球環境問題をはじめとする国際社会ならびに地域社会が抱える諸課題の解決に貢献できる理工系人材を養成します。	化学コース 【学士(理工学)】	革新的な電池やグリーン水素による脱炭素社会の実現、産業を支える新素材や疾病を治療する医薬品の開発、生物多様性保全に向けた取り組みなどの持続可能社会の実現に向け活躍できる人材を養成します。 #医薬品合成 #天然物合成 #香料合成 #電池 #機能性材料 #高分子 #触媒 #生命現象解明	製薬・化粧品・食品・化学・医療機器・半導体・自動車・高分子・石油化学・電子材料等の企業、公務員、高校教員、大学院進学
			数理・物理コース 【学士(理工学)】	自然界の法則を探究する現代物理学と科学の基盤である数学を学び、関連する理工学分野の発展に貢献する人材を養成します。 #超伝導 #磁性 #高圧物性 #ナノ物性 #素粒子 #宇宙 #微分方程式 #確率統計学 #数値解析学 #複雑系科学	半導体・電子部品・金属・自動車等の製造業、IT・宇宙開発関連産業、高校教員、公務員、大学院進学
			材料科学コース 【学士(理工学)】	金属生産プロセス、リサイクル技術、新機能材料、材料評価技術の開発に貢献できる技術者・研究者の育成を目指し、材料科学分野の専門的知識と産業応用に繋がる工学的技術を学びます。 #金属 #資源リサイクル #鋳造 #半導体 #磁性体 #超伝導体 #スマートマテリアル #生体材料	鉄鋼・非鉄金属・半導体・機械・電子部品・自動車・医療機器等の製造業（エンジニア、開発者）、高校教員、大学院進学
			知能情報コース 【学士(情報学)】	コンピュータとネットワーク、および、工業製品や社会の知能化に貢献するAIと情報システムの専門知識・技術を学びます。 #プログラミング言語 #人工知能 #アルゴリズム #ビッグデータ #画像処理 と #パターン認識 #信号処理 #ロボティクス #ネットワークシステム	情報・通信・ソフトウェア・自動車・知能ロボット・ITコンサルタント業、公務員、高校教員、プロダクトプランナー、Web/モバイルアプリ開発、ゲームデザイン・開発、デザインエンジニア、大学院進学
			クリエイティブ情報コース 【学士(情報学)】	コンピュータとネットワークの基礎、ビッグデータの整理・統合、人とコンピュータをつなぐインタフェースデザインなどを融合させた専門知識と、専門知識を活用した新たな情報創造技術を学びます。 #プログラミング言語 #人工知能 #アルゴリズム #ビッグデータ #情報デザイン #ヒューマンインタフェース #プロダクトデザイン #CG・アニメーション #アート表現	
			電気電子・情報通信コース 【学士(工学)】	電気電子・情報通信に関する基礎的な知識と応用力を備え、持続可能な社会に貢献できる専門技術者を目指し、情報通信・電子システム、電子デバイス、電気エネルギーの各分野について学びます。 #情報通信ネットワーク #デジタル信号処理 #デジタル集積回路 #半導体 #磁気デバイス #エネルギー変換 #高電圧・プラズマ	電力会社、通信関係企業、電気機器関連企業、半導体産業、IT産業、高校教員、公務員、大学院進学
			機械知能航空コース 【学士(工学)】	自動車、ロボット、航空機開発など、さまざまな機械分野で活躍できるエンジニアをめざし、設計・製図や力学などの機械工学の基礎知識とプログラミングやデータ処理・可視化・最適化などの情報処理技術の応用を学びます。 #機械工学 #自動車 #ロボット #航空宇宙 #最適設計 #ものづくり	設計開発に携わる機械エンジニア（自動車、ロボット、航空機、半導体、素材、ものづくり）、公務員（機械系）、大学院進学
			社会基盤・環境工学コース 【学士(工学)】	「安全・安心な社会の構築」と「人と環境にやさしい持続可能な社会の創出」を担う技術者・研究者の育成をめざし、環境工学、建設工学、防災工学の各分野を学びます。 #地球温暖化 #環境浄化 #資源リサイクル #橋梁 #トンネル #コンクリート #防災対策 #まちづくり	総合建設業、建設コンサルタント、公務員（土木系）、製造業、エネルギー、交通、大学院進学
農学部 【学士(農学)】	食料農学科	人類の生存基盤である食料の生産と食品に関する教育・研究によって健康で持続的な食料・食品の生産供給を担う人材を養成します。	農学コース	農作物の栽培技術、生産性・機能性向上、品種開発、植物ウイルスを利用した先端技術、土壌保全、食料安全保障政策など、「農学」に関する専門知識と技術を持った人材を養成します。 #作物学 #園芸学 #植物育種学 #植物病理学 #土壌学 #植物栄養生理学 #農業経済学	種苗・肥料・農薬・食品・医薬品関連企業、農業・食品関連団体、公務員（農学・化学職）、大学院進学
			食品健康科学コース	食品加工や食品の栄養・機能の解明、健康に関わる物質の探索、食品の品質や安全性に関する教育・研究によって「食を通じた人々の健康」に寄与できる人材を養成します。 #食品化学 #栄養化学 #食品工学 #食品機能学 #天然物生化学 #代謝生化学	
	生命科学科	生命の営みを分子レベルで深く理解すると共に、その原理を利用し、生物の機能強化、疾病の予防、種の多様性の継承等、次世代の諸問題の解決を先導できる人材を養成します。	分子生物機能学コース	微生物、植物、昆虫、動物など様々な生物の細胞や個体レベルにおける多様な生物機能を分子レベルで理解し、バイオテクノロジーのフロンティアを築く人材を養成します。 #生物化学 #細胞生物学 #植物生理学 #応用昆虫学 #共生生物学 #応用微生物学	バイオ・化成品・分析・医療関連企業、公務員（農学、化学職）、大学院進学
			分子生命医科学コース	Quality of life (QOL:生活の質)の向上を目指し、微生物から動物、ヒトに至るまでの生命現象を分子レベルで解き明かすと共に、疾患や老化現象、動物の行動に関わるメカニズム等を分子レベルで理解できる人材を養成します。 #バイオテクノロジー #医薬科学 #神経科学 #動物行動学 #再生医療 #生殖科学 #免疫学	
	地域環境科学科	持続可能な食と農の科学、地域生態系の保全、森林資源の管理と持続的な利用、持続的農業生産と環境管理など地球環境とSDGsへ対応する教育によって未来の農業・林業を担う人材を養成します。	革新農業コース	スマート農業技術を核とした農村環境や農業の基盤インフラ整備の技術開発、地域のネットワークづくりなど次世代型食料システムの創出を担う人材を養成します。 #スマート農業 #水理学 #土壌物理学 #構造力学 #農村計画学 #地理情報処理学 #フィールドロボティクス #栽培施設学 #農業循環工学 #農産プロセス工学 ・LCA #生鮮食品保存科学	国家公務員、地方公務員（農業農村工学・林学・農学）、国立研究開発法人（研究職）、建設・測量コンサルタント、環境保全団体、食品、IT、スマート農業・林業、観光、木材関連、大学院進学
			森林科学コース	JABEE教育プログラムの実践による、森林を主とする地域生態系の保全と管理、森林資源の持続的な生産と利用などに関わる森林科学技術者を養成します。 #森林造成・管理学 #森林工学 #森林防災工学 #森林政策学 #野生動物管理学 #保全生態学 #木材利用学	
	動物科学・水産科学科	畜産物・水産物の生産と供給、野生動物や海洋生物の生理・生態・利用に関する教育・研究によって、動物・水産資源の安定的な生産と供給を担う人材を養成します。	動物科学コース	産業動物生産(畜産)と野生動物を含む幅広い動物種の保護・管理に関する教育・研究により、動物関連産業の発展と生命科学に関する高度な科学技術開発に貢献する人材を養成します。 #家畜飼養学 #動物遺伝育種学 #草地学 #動物生殖工学 #動物栄養機能学 #食肉科学 #動物行動学 #動物生理学	動物・水産物関連企業、食品・医薬品関連企業、畜産・水産関連団体、公務員（畜産・水産職）、大学院進学
			水産システム学コース	水産資源の生産(漁獲・増養殖)から、加工、流通に至る一連のシステムに関する分野とそれら分野横断的な幅広い教育・研究によって、わが国の水産業成長産業化に寄与できる人材を養成します。 #水産増養殖学 #水産政策・経済学 #水産食品加工学 #漁業資源生態学 #水族遺伝学	
獣医学部 【学士(獣医学)】	共同獣医学科	東京農工大学との大学間共同教育システムを活用し、基礎から応用まで幅広い獣医学の知識と技術を学びます。			産業動物獣医師（産業動物診療獣医師、都道府県の公務員獣医師）、国家公務員（獣医職、畜産職）、小動物診療獣医師、医薬品・食品関連企業、畜産関連団体、競馬関係団体、大学院進学

岩手大学は、「地域の知の府」「知識創造の場」として、教育・研究・社会貢献活動を推進しており、中でも、積極的な産学官連携活動により培われた「地域連携」は本学の強みであり、各方面からも高い評価を得ています。

地域に頼られ、尊敬され、愛される大学となるため、学生力（主体的に学び成長する力）を高め、予測不能な時代を切り拓き、力強く生きる力を持ったレジリエントな「人づくり」を目指します。

■岩手大学ならではの学び

学生が主体となり立ち上げたプログラムを通して、地域社会と関わり、大学の中で「社会経験」を積んでいく。



岩手大学という豊かな学びのフィールドで、地域と一体となり、世界で活躍する力を育む。

学生主体のプログラム

企業とともに、地域社会の課題に取り組む

充実した教育・研究環境

岩手で学び、世界で活躍する力を身につける

地域課題を考えるカリキュラム

地域の課題を体験し、解決力を身につける

地域の課題を実体験し、考えることで、現代社会の課題を解決するための実践的な力を身につける。

海外留学や国内での国際交流を通して、世界と地域に目を向けていく。

国際交流

岩手から、世界中に発信していく



キャリア教育

低学年から自律的にキャリアを考える

キャリアのデザインに必要な知識と主体的に進路を選択する能力を地域と共に育む。



■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

理工学部

- 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲をもつ人
- 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人
- 修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人
- 自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人
- 大学での学びのなかで、広く社会とのかわりに関心をもち、積極的に多様な人々と協働しようとする人

農学部

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の基盤である「食料」「生命」「環境」分野における、基礎的・応用的・統合的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。そのため、入学者には、①農学分野を学ぶに相応しい基礎学力、②農学分野に関する諸問題を全体的な視点から捉え探求する思考力と表現力、③農学分野の専門的知識と技術を修得する意欲、④農学分野を主体的に学ぶ積極性と創造性豊かな発想をもとに協働して学ぶ意欲、をその資質として求めます。

獣医学部

獣医学部は、獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。そのため、入学者には①獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人、②動物の生命現象と病態に関する課題を探究し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人、③動物の生命現象と病態に関心をもち、それを継続して探究しようとする意欲のある人、④自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人、⑤獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人を求めます。

■学費（予定額）

初年次納入金	817,800円 ^{※1}
2年次以降	535,800円

類似する大学・学部初年次納入金^{※2}

東北学院大学 工学部	1,698,000円
明治大学 農学部 ^{※3}	1,801,000円
北里大学 獣医学部	2,330,000円

- ※1 初年次納入金は入学金、授業料の合計金額です。この他、諸経費が必要です。
- ※2 入学金、授業料、施設整備費、実習費等を含んだ学費です。この他、諸経費が必要です。
- ※3 農学科、農芸化学科、生命科学科の初年度納入費用です。



国立大学法人

岩手大学
IWATE UNIVERSITY

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

■お問い合わせ

担当／戦略企画・評価分析室

Tel.019-621-6032
https://www.iwate-u.ac.jp

ホームページ



アクセス

